

## 緒 言

本書『現代社会教育・生涯学習の諸相』（全3巻）は、これまでに発表してきた論文、その中でも、査読付き学会誌に掲載された論文を中心に集約したものである。

集約にあたっては、「歴史編」「現代編」「実践編」の3つの主題に即して、各巻に収めた。重複その他の箇所については、若干の修正・加筆を行ったが、できる限り原文を生かすことにした。なお、本第I巻「歴史編」の初出は、以下のとおりである。

- 第1章 戦後初期公民館研究の意義と課題・方法、日本公民館学会年報、3、2006、76-87。
- 第2章 戦後社会教育改革期における地域社会教育の内容・方法に関する一考察、中部教育学会紀要、2、2002、31-46。
- 第3章 戦後初期公民館の研究—愛知県を中心にして—、日本社会教育学会紀要、37、2001、121-129。
- 第4章 戦後初期愛知県における公民館の設立・運営過程に関する研究、日本教育学会 教育学研究、69（2）、2002、227-235。
- 第5章 戦後初期公民館の活動内容に関する一考察、日本公民館学会年報、1、2004、59-73。
- 第6章 法人公民館の設立・運営に関する一考察、日本教育学会 教育学研究、78（1）、2011、1-10。
- 第7章 青年学級創設の歴史的経緯と活動実態、日本学習社会学会年報、8、2012、66-74。
- 第8章 戦後岐阜県における婦人組織の再編・発展と活動の模索、日本学習社会学会年報、10、2014、108-114。

2001年に岐阜大学に助教授として赴任して以来およそ十数年、地域・自治体の社会教育・生涯学習実践にできる限り関わり、実践に専念している関係職員と地域住民のみなさんに「伴走」「伴奏」（末本誠・小林文人）することを自らのライフワークとしてきたつもりである。本シリーズの基底は、そうした実践と職員・地域住民のみなさんとの「つながり」であることはいうまでもない。どうか、忌憚のないご批判、ご教導をいただきたい。

最後に、本書を、大学・大学院を通じての恩師である新海英行先生（名古屋柳城短期大学学長・名古屋大学名誉教授）、牧野篤先生（東京大学大学院教育学研究科教授）に、そして、私をいつもエンパワーしてくれる最愛の妻・優子（愛知学泉大学准教授）と、いつも元気いっぱいの子息・慧丈と聖悠に捧げたいと思う。

2015年1月

益川 浩一

現代社会教育・生涯学習の諸相 第I巻 歴史編

---

目 次

緒　　言	1
<b>第1章 戦後初期公民館研究の意義と課題・方法</b>	9
1. 戦後初期公民館研究の意義——問題意識——	9
2. 先行研究の検討と研究の新しいフレームワーク	10
3. 地域史研究の視角	14
4. 初期公民館研究の視角——方法的視点——	20
5. 初期公民館の時期区分とその指標	21
6. 小括——課題の限定——	24
<b>第2章 戦後初期愛知県における地域社会教育の内容・方法</b>	27
1. 問題意識——本研究の課題と方法——	27
2. 愛知県における「社会学級」の普及	29
3. 愛知県における視聴覚教育の推進	36
4. まとめに代えて	40
<b>第3章 戦後初期愛知県における公民館行政の動向</b>	44
1. 問題意識	44
2. 方法視角	45
3. 戦後初期愛知県の社会教育行政の動き ——公民館の設置を中心にして——	47
4. 戦後初期愛知県における公民館の設置の動向 ——碧海郡桜井村公民館の動向——	51
5. まとめ	56
<b>第4章 戦後初期愛知県における公民館活動の動向</b> ——額田郡幸田村の動向——	60
1. 本研究の課題と方法——課題意識——	60
2. 戦後初期愛知県の社会教育行政の動き ——公民館の設置を中心にして——	62
3. 戦後初期幸田村における社会教育活動と公民館の設置	63

4. 幸田村公民館の歴史的位相	65
5. 幸田村における公民館の設置とその特色	67
6. 部落公民館の設置、運営	70
7. 小 括	75

## 第5章 戦後初期愛知県における公民館活動の実態

—— 額田郡幸田村の動向 ——	79
1. 課題意識	79
2. 方法視角	80
3. 幸田村中央公民館の活動	81
4. 視聴覚教育活動	84
5. 成人学級・社会学級	85
6. 生活改善運動	86
7. 部落公民館の活動	87
8. 小 括	90

## 第6章 戦後初期岐阜県における公民館活動の実態

—— 多治見市の動向 ——	101
1. 問題意識	101
2. 方法視角	102
3. 法人公民館の歴史的位相	104
4. 財団法人池田町屋公民館の設立	106
5. まとめに代えて	113

## 第7章 戦後初期岐阜県における青年学級の動向

1. 問題意識	119
2. 岐阜県における青年学級創設の動き	120
3. 青年学級開設の基盤	122
4. 吉城郡国府村青年学級	122
5. 武儀郡上之保村川合青年学級	123
6. 青年学級振興法の制定と青年学級	125
7. 地域青年学級の衰退と職種・職域青年学級の展開	127

8. 職種・職域青年学級の活動	128
9. 職種・職域青年学級の動向	131
10. 小 括	132
<b>第8章 戦後初期岐阜県における婦人学級の動向</b>	<b>134</b>
はじめに	134
1. 地域婦人組織の再編の動き	135
2. 地域婦人会の組織化	136
3. 「民主的団体」としての婦人会	138
4. 地域婦人会の問題点・課題	139
5. 婦人会組織の停滞	141
6. 岐阜県内地域婦人会の活動	143
おわりに	144